

3. 調査の概要

<調査の目的>

主要建設資材需給・価格動向調査（建設資材モニター調査）は、建設工事に必要な主要建設資材の需給、価格、在庫の変動状況を資材別・地域別に毎月把握することにより、建設資材の需給並びに価格の安定化対策を図る基礎資料とし、建設事業の円滑な推進を図ることを目的としている。

<調査対象地域及び調査対象業者>

1) 調査対象地域

北海道、東北、関東、北陸、中部、近畿、中国、四国、九州・沖縄の10地域

※東日本大震災における建設資材の需給・価格動向を把握するため、当面の間、被災3県（岩手県・宮城県・福島県）での集計を実施。

2) 調査対象業者

建設資材の供給側（生産者、商社、問屋、販売店、特約店）と需要側（建設業者）からモニターを選定し、調査を実施している。

<調査対象資材> 7資材13品目

1) セメント ————— 普通ポルトランド・バラ物

2) 生コンクリート ————— 建築用 (21N/mm²-18cm-25mm)

3) 骨材 ————— ①砂、 ②砂利、 ③碎石、 ④再生碎石

4) アスファルト合材 ————— ①密粒度アスコン13（新材）
②密粒度アスコン13（再生材）

5) 鋼材 ————— ①異形棒鋼（SD295A）D16
②H形鋼（200×100×5.5×8mm）

6) 木材 ————— ①杉正角・特1等（3.0m×10.5×10.5cm）
②型枠用合板・輸入品（12.0×900×1,800mm）

7) 石油 ————— 軽油1、2号

<調査項目>

各調査対象資材について、以下の項目等についての調査を実施している。

(1) 現在及び将来(3ヶ月先)の価格動向(下落・やや下落・横ばい・やや上昇・上昇)

(2) 現在及び将来(3ヶ月先)の需給動向(緩和・やや緩和・均衡・ややひっ迫・ひっ迫)

(3) 現在の在庫状況(豊富・普通・やや品不足・品不足)